

TIBET



CHINA

キトリ線

▲ チベットで亡くなった方のご冥福を祈り、チベット折鶴を作りましょう

チベットで今、何が起きているか

3月14日に起きたラサでの暴動以来、これだけ世界の注目を集めているにも関わらず、中国はこれを「内政問題」と位置づけ、世界の訴えに耳を貸そうとはしません。そもそもなぜ、今回の暴動が起きたのでしょうか？50年もの間、中国により侵略、弾圧され続けているチベットでは、彼らの精神的指導者であるダライ・ラマ法王の写真を掲げることも許されません。今回彼らが訴えたのは、そんな当たり前の自由です。チベットに自由を！と叫ぼうものなら、分離派として連行され、暴行を受け、処刑に至るケースや牢獄での拷問で亡くなるケースもあります。これらは、平和の祭典であるオリンピックの開催される中国で、今行われている事実です。今なお、暴動の起きたチベットの情報は明らかにされることなく、調査団の現地入も許されず、メディアが自由に取材することも出来ません。更に多くのチベット人が命を落とす前に、チベットで今何が起きているのか、国際社会に明らかにする必要があります。彼らを救えるのは、外側に暮らす私達だけです。彼らと同じ顔をし、同じ仏教の教えを継ぐ私達日本人に出来ることはたくさんあります。まずは、チベットで何が起きているのかを知って下さい。

<http://save-tibet.net/>

- 日本には、中国に不利益な報道ができない「日中記者交換協定」という条約があるのをご存知ですか？この条約により、欧米各国では広く知られるチベット問題が日本ではほとんど知られていません。[日中記者交換協定・政治三原則：1.中国を敵視しない 2.二つの中国を造る陰謀に加わらない 3.日中国交正常化を妨げない]
- Save Tibet Networkでは、チベットを救うために各方面と連携し、アクションを起こしています。詳しくは右上HPよりご覧下さい。
- 亡命生活を余儀なくされたダライ・ラマ法王は、今回のチベットでの暴動、聖火リレーにまつわる乱闘騒ぎを憂い、これほどの弾圧を受けてもなお、非暴力を訴え続けておられます。このダライ・ラマ法王を生んだチベット仏教の教えは、私達地球に暮らす全ての者の宝だと思います。一分でもいい、チベットのために何か行動しませんか？